

## 山形大学紀要（工学）原稿作成上の注意

### 1 原稿

- (1) 原稿は、原則としてコンピュータソフトウェアで作成し、かつ、以下の要件を満たすPDFデータとする。
- (2) 日本語の書体はMS明朝、英語の書体はTimes New Roman または Century とする。

### 2 用紙設定および構成

- (1) A4版とし、周囲に約3cmの余白を残す。
- (2) 原稿は表題等（表題、著者名、所属、英文要旨、キーワード）に続いて本文、引用文献、の順とする。表、図、写真は本文中に配置する。
- (3) 謝辞が有る場合には本文の文末に記載する。
- (4) 付録（Appendix）が有る場合には文献の後に置く。

### 3 表題等

- (1) 表題、著者名、所属は、6を参考に作成する。（日本語原稿：例1、英語原稿：例2）
- (2) 英文要旨は50～150語とし、式を用いる場合以外は改行しない。
- (3) キーワードは、英語で5語以内とする。

### 4 本文

- (1) 日本語原稿は横書き、二段組み22字詰×43行、9.5ポイント程度とする。  
英語原稿は二段組み、ダブルスペースとする。  
※1頁の字数は、英文で約3000字、和文で約1900字である。
- (2) 本文では章や節の区切りはせず、「1.」、「2. 1」、「3. 1. 2」等を用いる。
- (3) 術語、記号及び単位は、各専門分野の学会で選定したもの、または一般に慣用されているものを用いる。
- (4) References（文献）の欄は、番号を付さずに本文の次に設ける。（文献の書き方：例3）  
引用は文章の右肩に「1）」、「2～4）」、「3, 7）」のように片カッコを付けて行う。  
雑誌の場合、著者、雑誌名、巻、号、頁（年号）の順に記載する。  
単行本の場合、著者、書名、出版社（出版年）頁の順に記載する。  
国際会議議事録や研究会資料等もこれに準じる。
- (5) Table（表）は英文とする。  
外枠の縦線は引かずに作成する。  
横幅13cmとする。必要があれば13cm×20cmまで認める。
- (6) Figures（図）の説明文は原則として英文とする。

### 5 その他

- (1) 論文等の原稿の分量は原則として20頁以内とする。

## 6 参考

### 例 1 日本語原稿表紙

米沢産ウコギの活性酸素消去能

山形月山\*・米沢斜平山\*\*

\*山形大学自然科学学部自然科学学科

\*\*山形大学大学院理工学研究科かてもの工学分野

### 例 2 英語原稿表紙

Antioxidant Activity of Ukogi Leaves Produced in Yonezawa

Gassan YAMAGATA\* and Nadera YONEZAWA\*\*

\*Department of Natural Science, Faculty of Natural Science

\*\*Department of Katemono Engineering, Graduate School of Science and engineering

### 例 3 文献の書き方

- 1) G. Yamagata and N. Yonezawa, J. Antioxidant Chem. 20-2, pp205-210 (2014).
- 2) N. Yonezawa, Technique to Measure Antioxidant Ability of Natural Resources, Yamagata Press (2014) pp.220-290.
- 3) 米沢斜平山, うこぎの成分分析, 植物利用研究会討論会, 米沢 (2013) P 19。